

2

器械（TS）・GNSS 機器の準備

TS 出来形で使用する器械（TS・GNSS 機器）を準備します。

2-1 器械（TS）と接続して器械を設置する

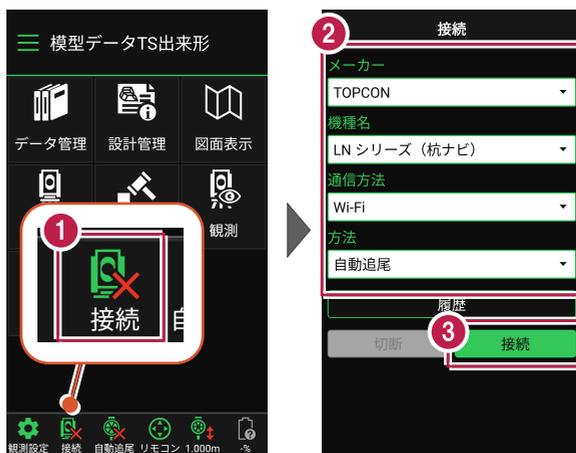
TS 出来形で「TS」を使用する場合の準備について解説します。

■ 器械と接続する

FIELD-TERRACEと、観測で使用する器械（TS）を接続します。

器械は電源を入れ、接続可能な状態にしておいてください。

- 1 ホーム画面の「接続」をタップして、器械と接続します。
- 2 「メーカー」や「機種名」などを設定します。
- 3 「接続」をタップして器械と接続します。



器械（TS）との接続方法について詳しくは

FIELD-TERRACEのヘルプ（マニュアル）の

「接続設定TS」

「基本操作」-「3 器械との接続」

を参照してください。

TS の等級について

TS出来形管理では、計測結果に観測したTSの等級が必要となります。

FIELD-TERRACEでは、接続した機種により自動的に等級をセットします。

メーカー	機種	等級
TOPCON	LN-150、LN-100	3
	DS-200i	2 (1・2等級)
	GT	1・2
	GM-100	2 または 3 (1・2等級/3等級)
SOKKIA	DX-200i	2 (1・2等級)
	iX	1・2
	iM-100	2 または 3 (1・2等級/3等級)
ニコン・トリングル	Nivo-Z	2
	Nivo-F	2
	FOCUS35	2

■ 器械を設置する

現場の既知点上または任意点に器械を設置します。

- 1 ホーム画面の
[器械設置] をタップ
します。

- 2 既知点上に器械を据える場
合は、[既知点] をタップし
て、後視点を測距します。

任意点に器械を据える場合
は、[後方交会] をタップし
まて、後視点を2点以上測
距します。



器械 (TS) の設置方法について詳しくは

FIELD-TERRACEのヘルプ (マニュアル) の

「基本操作」-「4 器械設置」

を参照してください。

器械設置時の注意点

既知点・後方交合法： 指定する点は、基本設計データに存在する工事基準点
(基準点または水準点) でなければいけません。

また、観測機器の等級により、TSと測点在一定値より離れていると警告メッセージが
表示されます。(1・2等級：150m / 3等級：100m)

既知点： 後視点として指定した工事基準点に高さ (Z座標) が存在する場合のみ、
TSと後視点との距離チェックをおこないます。

後方交合法： 2点以上を視準して器械位置を算出するが夾角が30°～150°内に
収まらない場合は、警告メッセージが表示されます。

2-2 GNSS機器と接続する

TS 出来形で「GNSS 機器」を使用する場合の準備について解説します。

■ GNSS モードに切り替える

FIELD-TERRACEの初期状態は「TSモード」です。

GNSS機器を使用する場合は、「GNSSモード」に切り替えます。

- 1 ホーム画面の [メニュー] をタップします。

- 2 [TS→GNSS切り替え] をタップします



- 3 現場座標系の画面が表示された場合は、現場の座標系を選択して [ホーム] アイコンをタップします。

- 4 「GNSSモード」に切り替わります。



■ GNSS 機器と接続する

FIELD-TERRACEとGNSS機器を接続します。

GNSS機器は電源を入れ、接続可能な状態にしておいてください。

1 ホーム画面の [機器設定] をタップします。

2 [観測方法]
[メーカー]
[機種名]
などを設定します。

3 [利用開始] をタップして
GNSS機器と接続します。



GNSS 機器との接続方法・初期化・観測設定・ローカライゼーション
などについて詳しくは

FIELD-TERRACEのヘルプ（マニュアル）の

「GNSS」-「1 観測前の準備」

「GNSS」-「2 GNSS機器との接続」

「GNSS」-「3 観測設定」

を参照してください。

GNSS 機器使用時の注意点

基準局・ローカライゼーションに指定する点は、基本設計データに存在する工事基準点（基準点または水準点）でなければいけません。